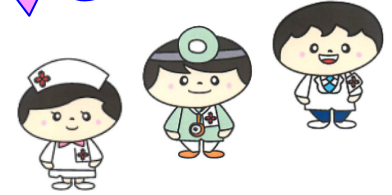




Emergency Watch

NO. 40



神戸こども初期急病センター



2014年3月受診者数：3044人

訴え

- 1. 発熱 : 2219人 (1919人)
- 2. 咳 : 1342人 (226人)
- 3. 鼻汁 : 948人 (11人)
- 4. 嘔吐 : 484人 (197人)
- 5. 頭痛 : 355人 (19人)

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

疾患頻度

- 1. 急性上気道炎 : 959人
- 2. インフルエンザ : 852人
- 3. 感染性胃腸炎 : 354人
- 4. 気管支喘息・喘息性気管支炎 : 160人
- 5. 気管支炎・肺炎 : 117人

☆☆今月のワンポイント☆☆

日増しに春めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。神戸こども初期急病センターの3月の総受診者数は、3044人で、発熱を主な症状として受診される患者さんが多くみられました。その中で、一番多かったのは急性上気道炎、二番目がインフルエンザでした。インフルエンザは、852人と、前月の1065人から少し減りましたが、まだとても多かったようです。インフルエンザ迅速検査は1327人に施行され、A陽性94人、B陽性520人、AB両方陽性1人と、B型が大部分を占めていました。

さて、もうすぐゴールデンウィークに入ります。ゴールデンウィークは、多くの方が海外へ渡航される時期ですが、海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適な旅行となるよう、今回は海外での注意および予防についてお話したいと思います。ポイントは、①感染症に対する正しい知識と予防方法を身につける、②最も感染の可能性が高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症であり、食べ物や水には注意！、③日本で発生していないような、動物や蚊・マダニなどが媒介する病気が流行していることがある。④WHOが排除又は根絶を目指している麻しん（はしか）、ポリオは、日本での感染者は減少、もしくは発生が認められていないが、諸外国では未だに流行している、⑤渡航先の感染症の発生状況に関する情報を事前に入手し、予防接種が受けられる感染症については、余裕をもって医師にワクチン接種の相談をしておくなど、適切な感染予防に心がけてください。海外旅行を控えている方は、ぜひ旅行前に厚生労働省のホームページ「ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について」を一読してください。

国内旅行においても、くれぐれも体調管理は慎重に、体調不良の際は、無理に外出せず、日頃から手洗い、うがいなどの感染予防にも心がけましょう。

